



近代製鉄の父 大島高任像

かまいし  
**市議会だより**

第**91**号

平成15年1月15日

発行 = 釜石市議会・編集 = 釜石市議会だより編集委員会

〒026-8686 岩手県釜石市只越町3-9-13

TEL 0193-22-2111(内線453)・FAX 0193-22-3710

釜石市議会ホームページ

<http://www.city.kamaishi.iwate.jp/gikai/>

(ご意見をお寄せください)

**R100** 古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

|                     |   |
|---------------------|---|
| 十二月定例会の概要           | 2 |
| 一般質問に十名登壇           | 5 |
| 議案審議                | 6 |
| 常任委員会研修報告・意見書・議会の動き | 7 |
| 新しい年に臨んで            | 8 |

# 市町村合併に関する調査特別委員会設置

## 補正予算でわらび学園分園整備補助

### 十二月定例会の概要

十二月定例会は、十二月十日から十二月二十日まで十一日間の会期で開かれました。

一般質問には十人が登壇し、地場産業の育成・振興、財政見通しなど市政全般について市側の考えをたきました。  
 今議会では、平成十四年度一般会計補正予算など当局提出議案二十五件、議員発議案九件を原案のとおり可決しました。

#### 市町村合併に関する調査特別委員会設置

地方分権の推進にともない、生活圏の広域化や多様化・高度化する行政需要に対応するため、市町村の行政基盤の強化が求められ、市町村合併が大きな話題となっております。

平成十七年三月までに合併を行うと、合併特例法による支援措置があり、釜石市議会としても、この期限内における合併の是非など、もつと踏み込んだ調査・検討が必要ではないかとのことで、市議会に特別委員会を設置し、合併についての議論を深めることといたしました。

定例会最終日に議員発議による「市町村合併に関する調査特別委員会の設置について」を可決し、議員全員が委員に選任され、委員長

に平松福一委員、副委員長に菊池正明委員を互選しました。

#### 職員給与の減額

人事院勧告制度創設以来初の基本賃金引下げ勧告に基づき、国家公務員の給料が改定されたことから、定例会最終日には、当市の一般職職員のすべての級の給料月額平均2%引き下げや、扶養手当の引き下げなどを平成十五年一月一日から実施することが追加提案され、賛成多数で可決されました。



#### 一般質問

(抜粋)

#### 市庁舎建設に伴う跡地利用こそ重要課題

市民クラブ  
菅原規夫

議員 市庁舎建設場所は、鈴子地区を予定地と考えてよいか。

市長 建設場所については、これまでさまざまな形の中で、多くの方々のご意見をいただいていたが、市民の皆さんが来庁しやすい立地条件を最優先とし、平成六年度に行政文化センター用地として先行取得した鈴子地区としている。

議員 建設年度は十九年度から二十年度に変わりはないか。



市庁舎建設に伴う跡地活用は

市長 本年三月に公表した中期財政見通しの主な大型事業の配置計画の中で、庁舎の建設年度を平成十九年度から二十年度としている。

議員 市民理解を得るためには市民を入れた跡地利用検討委員会を設置し、検討に検討を重ねる必要があると考えるがどうか。

市長 新市庁舎建設の条件として市民理解を得ることが大前提と認識している。庁舎移転に伴う跡地利用については、東部地区への影響を考慮し、学校統合に伴う跡地利用と併せて、現在、庁内に土地利用検討委員会を設置し、検討準備作業を進めている。

### 市民教育と 産業基盤の確立について

清和クラブ  
平松 福一

**議員** 四年で釜石を変えるを公約として市長に就任した小野市長は、一期四年を待つことなく早々と引退表明をされた。市民の気持ちを伝えるということは非常に難しい。町はそこに住む人々によって形成されるものであり、それに合った市民教育をいかに考えるか。

**市長** 将来を担う子供たちに郷土に対する夢と希望を与えるような取り組みを行うことにより、釜石をこよなく愛する人材を育て、苦しみも悲しみもともに手を取り合って、市民一人一人が積極的に

まちづくりに参加し、釜石の魅力あるまちづくりが進んでいくものと考え。

**議員** 釜石市は昭和十二年に全国百四十四番目に市制施行した。その頃の市勢は市民歌に表されている状況であったと聞いている。その後、種々の要因により今日のようになつたが、その主たる原因を何と見るか。

**部長** 当市の経済情勢を把握する上で、他市との状況比較も重要なものと考え。企業誘致における新規雇用者数は宮古市の三倍弱となっており、誘致企業で働く従業員数の割合は、釜石は42・3%、宮古は26・3%で、宮古が地場企業の比率が高くなっている。



まちを愛する人材育成を（社会教育課提供）

### 市長のリーダーシップは どうあるべきか

海盛会  
赤崎 光男

**議員** これまでの釜石の状況や経験を踏まえ、市長のリーダーシップをどう考えるか。

**市長** 市の組織を効率的に動かす場合、トップダウン方式より職員から前向きな意見が上がってくる形の方が職員個々の実力の向上、感性の高揚といった観点から有効であると考え。

**議員** 市民、職員の意識改革は市長 市民自らが主体的な活動を展開できる仕組みに変えていかなければならないこと、行政と住民との役割分担をきちんと整理していかなければならないと考え。職員の意識改革についても、地方分権により職員がますます自分たちの結論を得て、自己決定、自己責任という意識を持つことが自己を変えることと考える。

**議員** 魚市場移転のキーポイントは、冷蔵庫建設ができるかどうかでは、

**部長** 水産加工施設の整備にあわせて凍結施設も整備し、地域の凍結能力を高めるよう関係者に働きかけていきたい。

**議員** 新浜町の海岸にトイレを設置するべきでは、

**部長** 県及び関係者、地元町内の協力を得ながらトイレ建設の実現に向けて進めていきたい。



住民参加活動（ワークショップなど）

### 行政機構について

21世紀の会  
佐々木 義昭

**議員** ミニ市場公募債を発行し、高齢者施策を充実させてはどうか。

**部長** 住民の行政への参加意識の高揚と財政難対策等、内需拡大のために有意義だが、償還等コストを勘案して発行の可能性を検討する。

**議員** ポジションエントリー制度の導入を考えるべきだが。

**部長** 人事考課制度の構築の中で検討する。

**議員** 部長に対する予算執行

権の付与については。

**部長** 限られた財源を最大限効果的に投資するため、庁内分権的体制が必要である。なお、今年度は部長ヒアリングを実施した。

**議員** 第三セクターの経営改善や見直しが必要だと思つたが。

**部長** 出資比率が四分の一以上の法人には監査委員による監査、二分の一以上には経営状況説明の書類提出を求めている。行財政改革の観点から一層の努力をする。

**議員** 物流拠点形成のための将来ビジョンと次の市長への引き継ぎは、

**市長** 第五次総合計画に基づき、高規格幹線道路の整備、釜石港の機能の高度化を軸に推進している。そのことを次期市長にも引き継ぎます。



物流拠点の形成へ（仙人トンネル貫通式）



産業育成部門の企業訪問（商工課提供）

**行政は  
地場企業をまもれ**  
公明党  
山崎 長 栄

**議員** 市内の商工業や建設業は正念場を迎えている。新たな支援措置と制度の拡充が必要では。

**市長** 市の振興資金制度は有効に利用されている。県内他市と比較しても、利子や保証料の補給は同様だが、融資限度額は併用を除くと当市が上限の金額だ。企業の資金確保が困難になってきている。マル経融資を担当している商工会議所との連携を強化し、振興資金の限度額引き上げ等を視野に入れながら、さらなる制度の充実を図っていききたい。

**議員** 地場企業と誘致企業では所管の窓口が違ふ。ひずみが生じてきている。機構の見直しを進めて共存を目指すべきだ。

**市長** 商工課の産業育成部門と特定政策室の企業誘致部門の統合は、どちらも産業振興部門であり、将来はその方向に進むべきものと考えている。現段階では港湾や道路の利活用、エコタウン構想と企業誘致を関連づけるため、特定政策室にその機能を持たせたい。

**議員** 汚水処理計画は財政的に実施可能か。他事業の導入は。  
**部長** 財政状況がひっ迫している。効率的な手法の検討を重ね、地域の実情に合った経済的な施設の建設事業を導入したい。

**「地域保健推進計画」の推進を**  
民政クラブ  
秋元 厚子

**議員** 長引く景気の低迷により財政環境は厳しい。当市の中期財政計画に位置づけられている大型事業は、計画どおり推進されるか。  
**市長** ある程度内容の見直しは避けられない。財政状況と事業の優先順位を的確に判断し、最大限の努力をする。

**議員** 介護保険計画の見直し過程において、当市の特色と課題は。  
**部長** 国、県を上回る勢いで高齢化が進んでいる。施設利用重視の傾向にあり、第一期介護保険計画策定において、市民からのアンケート調査等をもとに課題への対応をしていく。  
**議員** 市民の健康づくりが大切だ。施策を体系的、総合的に示した「地域保健推進計画」を策定し、官民一体で推進すべき。

**部長** 平成十五年度に民間有識者などによる策定委員会を設置し、効果的、計画的に進めたい。  
**議員** 高齢者の居住の安定確保に関する法律が施行されている。当市の住宅政策に生かすべき。  
**部長** 加齢対応構造等を備えた民間の賃貸住宅の整備促進に必要な施策を講ずるよう努める。  
**議員** 福祉事務所、生活環境課、



地域保健の推進を（生活環境課提供）

**大型事業に備え  
起債枠の準備を**  
市民クラブ  
武田 直 美

**議員** 中期財政見通しと総合計画との関わりは、見直しもありうるのか。

**市長** 中期財政見通しは、ひっ迫する財政事情と山積する課題を市民に理解してもらうために作成した。主な大型事業の配置は固定化されたものではなく、財政状況などにより見直しもある。

**議員** 平成十五年度の予算規模はどの程度見込んでいるのか。  
**部長** 平成十四年度以下の水準

清掃事務所などの再編が必要だ。  
**部長** 組織再編協議を進めたい。

となるものと見込まれる。  
**議員** 平成十六年に起債の借り換えが六億三千万円あるが、各種基金を利用して、一億でも二億でも支払ってほしい。

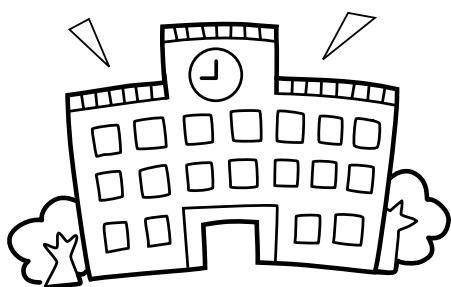
**部長** 利率、交付税措置を考えると一括借り換えで、十年の元利均等払いが現状では良い。

**議員** 大陸棚調査が行われるが当市の港湾や研究施設を利用し、海洋工学の中心地を目指すべきでは。

**部長** 国策と並行した、地域活性化に向けた施策誘致について、今後とも積極的に展開したい。

**議員** 物産センターの赤字が減少しているが、壁面を利用した宣伝活動をやってほしい。

**部長** 費用のかからない方法で宣伝効果を上げるようにしたい。



### 県生協連店舗建設の 動きに行政対応は 市民クラブ 千葉勝男

である。影響が大きいので慎重に  
対応したい。  
議員 勤労者体育館や青葉ビル  
の解体時期並びにその後の利用団  
体の施設は

議員 在宅健康管理システム  
「うらら」の行政管理百台の利活用  
は、健康を取り戻した事例紹介等、  
保健行政の見地から有効だが。

部長 医療費の抑制、慢性疾患  
の管理、市民の意識向上から有効  
である。介護保険事業で市独自の  
サービス給付を検討している。

議員 県生協連が釜石に店舗建  
設の構想があると聞いている。行  
政の判断と取り組み状況は。

助役 八月段階で話があり、職  
員を調査に派遣したが、まだ具体  
的な内容が詰められていない模様



在宅健康管理システム「うらら」

部長 勤労者体育館は十五年度  
解体で青葉ビルを含む跡地利用の  
方向を、年度内をめどに決定する。

議員 山ブドウ栽培に対する先  
進地研修の取り組み開始は評価す  
る。今後の対応は

部長 山ブドウ栽培に関心を持  
つ農業者六名も参加し、県林業技  
術センター、矢巾商工会、葛巻高  
原食品等を研修した。今後とも生  
産者及び関係機関と積極的に協議  
し、地域に利潤をもたらす山ブド  
ウ栽培の実現に向けて努力する。

### 環境、森林・林業行政 無会派 川崎勇一

ており、その結果を踏まえて対処  
していく。

議員 現在、生活排水等の60%  
が未処理のまま河川に流入してい  
ると言われており、漁場の汚染が  
指摘されている。市民に対し、汚  
水処理対策の重要性についてさら  
なる理解を深めるためにも、あら  
ためて汚水処理基本計画を策定  
し、周知を図るべきでは。

部長 現在実施中の公共下水道  
の認可期間は平成十六年度までと  
なっており、平成十七年度以降の  
変更認可に向け、下水道基本計画  
の策定を行っている。この計画策  
定の中で公共下水道、漁業及び農  
業集落排水事業、合併浄化槽設置  
事業の整備を進めていく。事業計  
画については、広報等を通じ、市  
民への周知に努めていく。

議員 将来を見据えた活力のあ  
る林業行政、林業振興に向け、経済  
部局内に民間を含めたプロジェクト  
チームを設置すべきでは

部長 資源の可能性を探ってい  
かなくてはならないと考えている。  
熟度が高まった段階で検討したい。

議員 大槌町との合併について姿  
勢を明確にすべきでは  
市長 十二月二十四日に県が各  
市町村長の意向確認を行うと聞い

### 業者への年末対策と 障害者の支援費制度は 無会派 齋藤正子

移行する。認定審査体制と利用料  
は本人の所得内で徴収すべきだが。  
部長 県の従事者養成研修を受  
講した担当職員が当たる。利用料  
は、本人と扶養義務者の負担能力  
に応じた徴収とされる。

議員 入所、通所の基盤整備は

部長 わらび学園分園の改築が  
予算化され、基盤整備は進む。

議員 制度の周知については、  
部長 市内の各障害者団体の会  
合の際に概要説明を行っている。

議員 食の安全にトレーサビリ  
ティ(追跡可能性)という、いつ、ど  
こで、どのように生産、流通され  
たか等が把握できるシステムづく  
りが重視されているが。  
部長 さきの教訓から、国、県  
が制度、体制を強化している。



漁業集落排水処理場



わらび学園分園予定地

議案審議の主な質疑とその要旨

平成14年度補正予算

|           |              |           |              |
|-----------|--------------|-----------|--------------|
| 【補正額】一般会計 | 1億6422万3千円   | 特別会計(4会計) | 2億526万5千円    |
| 【補正後の予算額】 | 210億5171万4千円 |           | 143億3163万3千円 |

主な補正内容は、中小企業者に対し事業資金の融資枠拡大を図る中小企業振興対策事業、子供に焦点をあてたイベントを開催しながら県内外との交流によりにぎわいを創出する事業への助成、社会福祉法人わらび会が旧鶉住居保育園の建物を改修し、分園として整備しようとする知的障害者通所更生施設の整備費の一部助成などです。

新年度予算規模

問

来年度は厳しい財政運営になり、5%ほど今年度予算から減額になるとのことだが、政策的経費も含めると、年間予算は二百億円に届くのか。

答

5%減の骨格予算での見込みであり、十四年度と比較して、若干下回る予算規模になる。

港湾ビジョン

問

岩手県港湾ビジョンは今後二十年先を見た計画であり、具体的なアクションプランはどのようなか。

答

実現のためアクションプランを作成し、順次計画を進める。十八年から十九年に向けたプランを作成する。特に内陸部のネットワーク、外貿、内貿の定期航路の推進、ポートセールス、観光、リサイクル港を中心に推進していく。

問

リサイクルポートに対する見解は。

答

二次指定に向けて計画書を提出中であり、国とヒアリングを行っている状況である。県も積極的に取り組んでいるので一体となって取り組む。

構造改革特区

問

構造改革特区を活用して、宮城県、岩手県、青森県の三陸沿岸の漁業の許認可事項を三県の知事に委託するよう釜石から発信すべきと思うが。

答

三県の共通するのは海であり、具体的に二百海里を国の管理から共同体の中どう移管するか、また、規制排除など研究したことが無いので、具体的に「サイン」を出せるように研究する。

清風園職員の配置

問

清風園の行政事務組合職員の配置状況はどうなるのか。

答

市の職員七名、行政事務組合十一名、合計十八名である。釜石市、大槌町、行政事務組合一月より具体的に協議していく。いずれ釜石市、大槌町、行政事務組合に配置する。

わらび学園分園整備

問

わらび学園の定数は十名だが、需要が見込まれることから定数増について関係機関と協議すべきでは。

答

当初十名と決めたのは釜石五名、大槌二名の計七名であったためである。今後入所希望者が出れば増員に向けて協議する。

産業廃棄物処理

問

沿岸南部地区では新しい溶融炉の建設計画があるが、産業廃棄物も一緒に処理することも検討すべき。

答

新溶融炉では一般廃棄物と産業廃棄物の混合処理も検討することとしている。他地区の産業廃棄物業者にも対応できるように施設建設に向け働きかける。

橋上市場わきでの販売

問

橋上市場わきの市道での販売業者は商売の継続を希望しているが、また、トイレの撤去は

答

新たに販売業者が出てきた際に改めて対応を前向きに考える。トイレに関しては撤去の予定になってはいるが、市内全体の状況を考えて検討する。

食の安全

問

味覚まつりでの釜石牛カルビの生産地と流通経路は確認していない。

答

地産地消、食の安全性についての見解は。

答

今後、食の安全において万全のチェック体制を整える。また、畜産振興のためには畜産農家とも話し合う。

JR近接工事

問

JRがらみの災害復旧作業は時間を費やす。小佐野・大橋間の沢水など対応の不充分な場所があるか。

答

JR釜石線を暗渠で通過する水路部分であると思うが、至急JR釜石線営業所と協議し、JR側工事で行うよう努める。

スポーツ記念館

問

シープラザ内に釜石スポーツ記念館をつくるべきでは。

答

当市にはラグビーV7当時の賞状、トロフィーなどを含め、野球、陸上、武道その他多数のスポーツ大国の歴史がある。これを一カ所に集めることは、交流人口増大の考え方からも大変有効であり、セキユリティをクリアすれば可能性は大きいと考える。

郷土資料館の移転先は

問

郷土資料館は速やかに移転するという計画であったが。

答

教育センターが適地と考え、移転に係る資料の整理中である。また、郷土資料館運営委員会でも移転後の展示方法、ストーリー等も検討中である。施設整備については関係課と協議中だが、このような状況であり十五年三月をめどとした移転は困難な状況である。

## 意見書

北朝鮮による拉致問題の徹底解決を求める意見書  
 地域雇用対策の強化・改善を求める意見書

中小企業に対する支援策の早期拡充を求める意見書  
 米国のイラク攻撃に反対し平和的解決を求める意見書

「人権擁護法案」の抜本修正を求める意見書  
 日本型家族農業を守り、株式会社の農地取得を許さないことに

関する意見書  
 物価スライドによる年金引き下げに反対する意見書

基礎年金の国庫負担割合3分の1から2分の1へと早急に引き上げを求める意見書

建設常任委員会  
 最近の県内教育施設建築においては、木造校舎とする学校が増えている。これは鉄筋コンクリート造の校舎より、児童生徒における病気やけがの発生率が低いという調査結果が出ていることから考えられるが、当市における小中学校の統合による校舎の新築や改修に際し参考とするため、新聞、テレビ等で積極的な取り組みが紹介されている埼玉県玉川村を視察研修した。同村においては既存の小中学校をリニューアルにより教室の内装や床、廊下、机などを木質化したもので、その結果インフルエンザの抑制に効果が見られる等、病気やけがが減少し、加えてぬくもりのある雰囲気の中で、生徒の情緒も安定するなど大変参考

意見書の内容は、市議会ホームページに全文を掲載しています。また、お近くの公共端末（公民館、物産センター、市民病院等）でもご覧になれます。



## 先進地視察

— 常任委員会研修報告 —

建設常任委員会

最近の県内教育施設建築においては、木造校舎とする学校が増えている。これは鉄筋コンクリート造の校舎より、児童生徒における病気やけがの発生率が低いという調査結果が出ていることから考えられるが、当市における小中学校の統合による校舎の新築や改修に際し参考とするため、新聞、テレビ等で積極的な取り組みが紹介されている埼玉県玉川村を視察研修した。同村においては既存の小中学校をリニューアルにより教室の内装や床、廊下、机などを木質化したもので、その結果インフルエンザの抑制に効果が見られる等、病気やけがが減少し、加えてぬくもりのある雰囲気の中で、生徒の情緒も安定するなど大変参考

になった。また、兵庫県相生市においては、基幹産業であった石川島播磨重工の造船所合理化後のまちづくりの方向として、港湾の整備と地形的に災害に弱いまちからの脱却を目指しての都市基盤整備について視察研修を行ったが、釜石市と同じく沿岸にある企業城下町であった同市の目指すまちづくりの方向性については大いに参考となるものであった。

委員長 両川 敏之  
 副委員長 川崎 勇一  
 委員 藤原 茂實  
 小野寺 英雄  
 佐野 金吾  
 島林 兼雄



建設常任委員会

## 議会の動き

【10月】

16日 議会運営委員会  
 18日 市政調査会視察  
 21日 経済常任委員会行政視察研修（22日）  
 22日 建設常任委員会行政視察研修（25日）  
 23日 総務常任委員会行政視察研修（24日）

【11月】

1日 岩手県市議会議員研修会  
 15日 市政調査会幹事会  
 19日 民生常任委員会  
 会派代表者協議会

【12月】

2日 議会運営委員会  
 9日 議会運営委員会  
 10日 12月定例会開会  
 （20日）  
 経済常任委員会・会派代表者協議会・議会だより編集委員会  
 16日 市政調査会幹事会  
 17日 総務常任委員会・民政常任委員会・経済常任委員会・議会運営委員会・会派代表者協議会  
 18日 建設常任委員会  
 19日 議会運営委員会  
 20日 議会運営委員会  
 24日 議会だより編集委員会  
 27日 議会だより編集委員会

## 人事案件

釜石市固定資産評価審査委員会委員の選任  
 田代 季 男 氏

人権擁護委員候補者の推薦  
 澤田 祐 喜 氏  
 工藤 益 子 氏

## お詫び

議会だより第90号の議案審議の「物産センターの収支状況」の掲載文中、問に対する答が欠落していた部分がありましたので、お詫びして今号に掲載いたします。

## 問

物産センターは自主運営で一部が委託管理ではないか。決算書からみて説明はおかしい。公共施設は赤字でもよいとの発言は問題だ。国鉄清算事業団との縛りは解けた。利益追求と少しでも赤字を無くす努力を行うべきだ。

## 答

おおよその数値を述べたが説明不十分であった。歳出の委託料と言ったのは管理運営費のことであり、収入は使用料、財産収入雑入の合計額を概算で述べたものである。

# 新年賀 謹



公職選挙法により「印刷年賀状」を出すことができませんので、本紙によりご挨拶を申し上げます。

市議会議員一同

— 新しい年に臨んで —



議長 小沢 和夫

市議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃から市議会に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

我々市議会では、行財政改革等さまざまな施策について提言しながら、開かれた議会、議会の活性化を目指してホームページの開設や会議録検索システムの導入等に積極的に取り組んでまいりました。また、全国的な議論の高まりを背景に「市町村合併に関する調査特別委員会」を設置いたしました。

当市の置かれている厳しい現状や課題を直視し、自己決定、自己責任のもと、個性ある、魅力あふれる地域社会の実現に向け総力を結集してまいります。

市民各位のご健康とご多幸、さらなるご発展を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

## 民政クラブ

幹事長 秋元厚子  
副幹事長 菊池正明

## 市民クラブ

幹事長 千葉勝男  
菅原規夫

松坂喜史  
東 隆人  
佐野金吾  
鈴木正幸

## 清和クラブ

幹事長 藤井修一  
平松福一

## 21世紀の会

幹事長 佐々木義昭  
副幹事長 小笠原多子男

## 海盛会

幹事長 藤原茂實  
副幹事長 赤崎光男

## 公明党

幹事長 山崎長栄  
島林兼雄

## 会派に所属していない議員

川崎勇一  
齋藤正子



雨は夜更け過ぎに雪へと変わるだろうサイレントナイト、ホリーナイト、きつと君は来ない一人きりのクリスマススイプ、十二月議会が終了した。一年の早さに驚かされるのは私だけだろうか。

世界情勢の変化、日本経済の低迷などがテレビ・マスコミを賑わせている。当市は、光の見えないトンネルにいるように感じられる。これを打開するのは、自己責任・自己決定のもと、みずからが意識し、みずからが行動するしかないように感じられる。その結果として意識改革がなされたと言っただろう。

もっと明るい議会報をつくるためにも、明るい話題の提供、白熱した議会が良い議会報をつくるのだらう。

(赤崎 記)

委員長 武田直美  
副委員長 佐々木義昭  
委員 赤崎光男  
藤井修一  
東 隆人  
島林兼雄